

戸田市中小企業振興会議 第8期の進め方および研究テーマ（案）

（令和7年度第4回戸田市中小企業振興会議）

1. 若手人材の地元定着を促す企業魅力発信戦略

⇒地元の中小企業が若者に選ばれるためのブランディングや採用支援のあり方を研究。

2. 関係人口を増やす取組に関する検討

⇒活力と賑わいのある地域社会を創出するとした本会議の目的に鑑み、事業活動がしやすい環境づくりや本市での起業・就労・居住の意欲向上に繋がる取組やアイデアを検討する。

3. ふるさと納税制度の活用による販路拡大戦略

⇒ふるさと納税で成功している自治体の事例を研究し、戸田市ならではの新たな返礼品や市内企業同士のコラボ返礼品等の開発の可能性と広域展開を支援する方法を探る。

4. 第7期提言施策に係る具体案の検討

⇒第7期提言書に記載された取組内容の有効性を高めるべく、各取組における具体的な設計案を検討する。例：DX推進セミナーの内容、ターゲット、講師等の検討。企業が無理なくDX・デジタル化できるような支援モデルを探るなど。

5. 「とだSDGsパートナー」制度の活用による企業価値向上の可能性

⇒市が認定するSDGsパートナー制度を活用して、企業のブランド力や競争力をどう高められるかを探る。また、事業者がSDGsに取り組むきっかけとなるような魅力あるインセンティブを研究する。

1.若手人材の地元定着を促す企業魅力発信戦略

- ・中小企業における人材の採用や定着において、ブランディングは非常に重要である。
- ・最近、中小企業の方から「採用」について相談を受けることが多い。企業と求職者のミスマッチを埋めることや、若手人材を定着させることに対する行政の支援というのは大変意義を感じる。
- ・各企業のブランディングを踏まえ、戸田市内の企業を市民に知ってもらう機会を作るのが良いのではないか。

4.第7期提言施策に係る具体案の検討

- ・DXに関して、企業がどのように進めていけば良いのかという点を議論するのが良いのではないか。
- ・特にDXやAIという点にフォーカスし議論することで、企業の採用支援や魅力発信等にもつなげられるのではないか。
- ・就職活動の際に、一般的な就活サイトではなく企業独自のホームページから採用申込を行うという話もあり、DXへの対応というところは求人活動としても有益になってくる。

5.「とだSDGsパートナー」制度の活用による企業価値向上の可能性

- ・社会全体として、SDGsへの取組を後回しにしてはいけないという認識が高まってきているので、具体的な話をできると良いのではないか。BCPの視点もSDGsに含めて対策を取らないといけない。
- ・SDGsの目標が2030年に設定されていることから、会議のテーマとして取り上げるとすると第8期が最後となるのではないかな。
- ・SDGsにいかに取り組んでいるのか、企業活動が人々の幸福追求にどのように貢献しているのかという点は、若手人材が非常に注目をしている内容である為、人材採用にも関連する内容となっている。

※その他

- ・職員がワクワクするような内容、元気が出るようなテーマはどうか。
- ・企業の「基礎体力向上支援」と「改革・発展支援」の2テーマが混在しており、選択が必要ではないか。

前回会議時点では、書面開催にあたり複数のテーマ案を提示して委員の皆さまに選択いただく想定でしたが、前回会議において「ブランディング」の案に対する皆さまの関心が他の案よりも高い印象でしたので、「ブランディング」というキーワードを柱にしながら、「DX」「AI」「SDGs」といった要素を紐づけていくようなイメージのテーマ案として、一つにまとめさせていただきました。

テーマ案：地元中小企業が若者に選ばれるためのブランディングについて

令和8年度
第1回
(R8.5)

中小企業における人材の採用や定着において、ブランディングは欠かせない戦略である。中小企業が取り組むべきブランディングの手法やステップについて、幅広く研究を行う。

令和8年度
第2回
(R8.10)

第1回会議で出た意見を踏まえ、中小企業のブランディングに対する自治体の支援策について議論を行う。
たとえば・・・

◆DX活用支援：AIツールを用いた業務効率化、魅力発信や人材採用に活用できる動画制作等、市内企業のモデルケースとなる事例が構築できるよう支援

令和8年度
第3回
(R9.1)

◆ストーリー発信支援：企業の成り立ちや職人の想い、地域とのつながり、SDGsの取組などを取材・編集して、自社サイトやSNSで発信・運用ができるよう支援

◆地域イベントでのブランド体験：地域のお祭りや観光イベントで、企業が自社ブランドを体験してもらえるブースを出展できるよう支援 など

令和8年度
第4回
(R9.5)

目指すゴール：「市長への提言書」の提出を行う。

なお、事務局としては、「ブランディング」とは、「企業の“らしさ”を内外に伝え、共感と信頼を育むこと」だと認識しており、企業が他社との差別化を図るために自社の魅力をどう発信したらよいかという点を自治体がいかに支援していくかが本テーマの論点になるかと考えております。

第8期任期満了
(R9.6末)